

# FXOS CLIを使用したSFTD/ASAインスタンスのパスワード回復

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[手順](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、FXOS CLIを使用してSFTDまたはASAインスタンスのパスワードを回復する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

FP41XXまたはFP93XXセキュアファイアウォールシリーズ上のSFTDまたはASAインスタンス。

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

- Cisco Firepower eXtensibleオペレーティングシステム(FXOS)コマンドラインインターフェイス(CLI)

### 使用するコンポーネント

- Cisco Secureファイアウォール4110
- Cisco Secure Firewall ASAソフトウェア

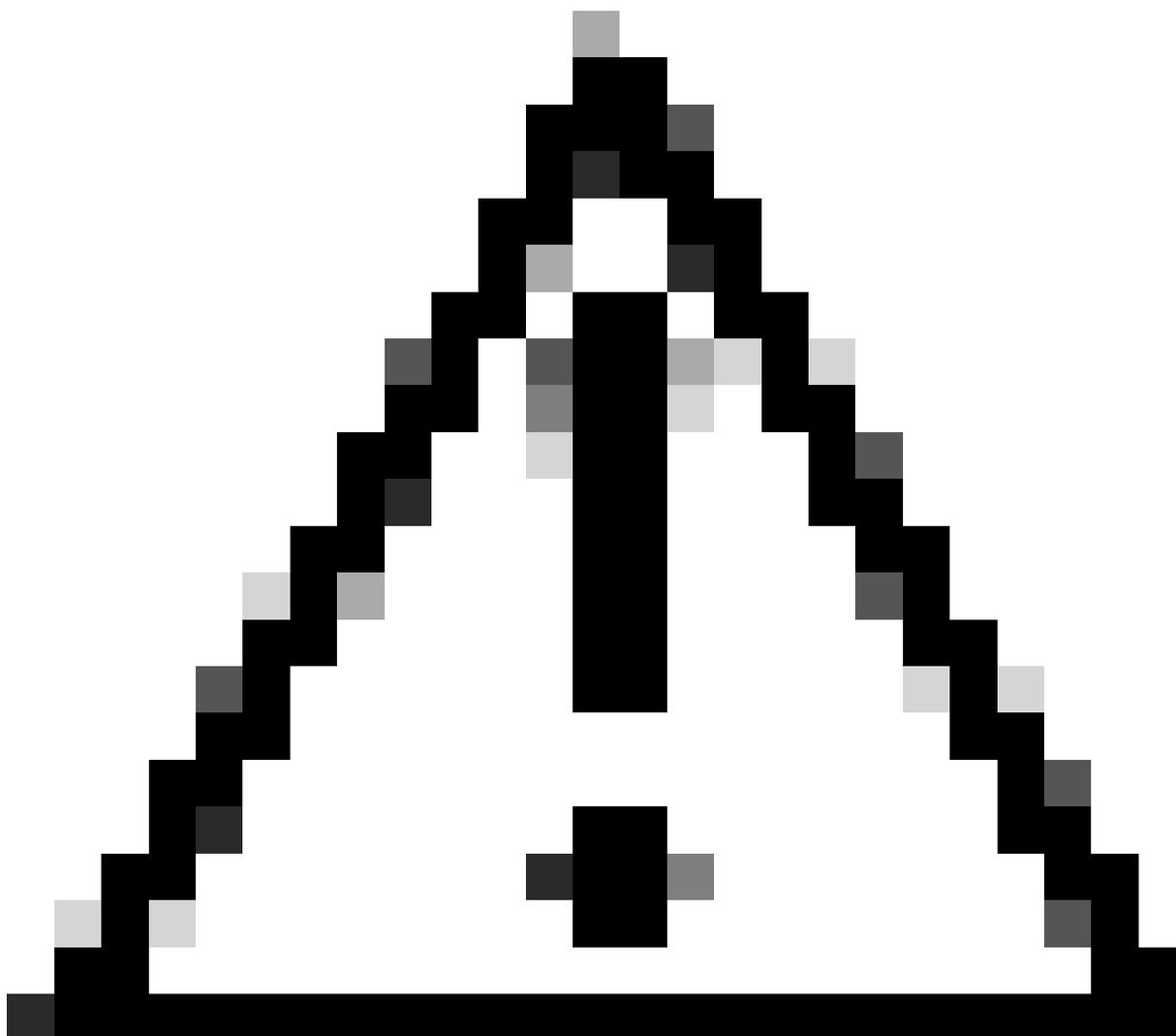
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

デバイスのパスワードが失われて回復する必要が生じ、FXOS Firepower Chassis Managerを使用できないというシナリオもあります。FP41XXまたはFP93XX Secure Firewallシリーズ上の

SFTDまたはASAインスタンスの場合、パスワード回復はFXOS CLIを介して実行できます。

---



注意：このプロセスではインスタンスのリブートが必要なため、トラフィックが停止する可能性があります。

---

## 設定

### 手順

ステップ1：管理者権限のクレデンシャルでFXOS CLIにログインします。

ステップ2：アプリ名、識別子、スロットID情報を取得します。

スコアレス

アプリインスタンスの表示

以下に例を挙げます。

```
<#root>
```

```
FPR4110-K9-1# scope ssa
FPR4110-K9-1 /ssa # show app-instance
```

```
App Name Identifier Slot ID
```

```
Admin State Oper State   Running Version Startup Version Deploy Type Turbo Mode Profile Name Cluster St
-----
asa      ASA          1
Enabled  Online        9.16.3(14)    9.16.3(14)    Native      No                Not Appl
```

ステップ 3 : 新しい管理者とイネーブルパスワードを指定し、変更を保存します。

スコープ論理デバイス識別子

スコープmgmt-bootstrap app\_name

scope bootstrap-key-secretパスワード

設定値

値を入力してください : パスワード

値passwordを確認します。

コミットバッファ

exit

exit

以下に例を挙げます。

```
FPR4110-K9-1 /ssa # scope logical-device ASA
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device # scope mgmt-bootstrap asa
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device/mgmt-bootstrap # scope bootstrap-key-secret PASSWORD
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device/mgmt-bootstrap/bootstrap-key-secret # set value
```

Enter value:

Confirm the value:

Warning: Bootstrap changes are not automatically applied to app-instances. To apply the changes, please

```
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device/mgmt-bootstrap/bootstrap-key-secret* #commit-buffer
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device/mgmt-bootstrap/bootstrap-key-secret # exit
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/logical-device/mgmt-bootstrap # exit
```

ステップ 4 : 管理ブートストラップをクリアし、変更を保存します。

```
scope slot slot_id ( スコープスロットのスロットID )
```

```
スコープ app-instance app_name 識別子
```

```
clear-mgmt-bootstrap
```

```
コミットバッファ
```

以下に例を挙げます。

```
FPR4110-K9-1 /ssa # scope slot 1
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/slot # scope app-instance asa ASA
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/slot/app-instance # clear-mgmt-bootstrap
```

```
Warning: Clears the application management bootstrap. Application needs to be restarted for this action
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/slot/app-instance* # commit-buffer
```

ステップ 5 : インスタンスを再起動します。

```
restart
```

```
コミットバッファ
```

以下に例を挙げます。

```
FPR4110-K9-1 /ssa/slot/app-instance # restart
```

```
FPR4110-K9-1 /ssa/slot/app-instance* # commit-buffer
```

0.



注 : 変更が保存されると、インスタンスは再起動します。

---

手順 6 : 新しいクレデンシャルを使用して、SSH経由でSFTD/ASAインスタンスにログインします。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。